

ダムは是非造って下さい。

お水ってとっても大事ですよ。

五木村の山々からの“湧水”は最高に美味しいと思います。

川辺川ダムが出来たら、治水目的ばかりでなく、多目的ダムを
目ざして下さい。

長い間、この球磨地方では“水がれ”がありません。

これは、「市房ダムのお陰だと、とても感謝しています」とお年寄り
や先輩諸兄から聞きました。

随分前になりますが、ある農家のご夫妻で、お神酒・お米・塩を持
参し、ダムにかけていらした姿がとっても目に焼きついています。

ダムの計画が始まった頃、私の兄が「その内、高速道路が出来ら
るうから、治水ばかりではなく、ダムの水を高速道路に沿わせて、他
市町村への上水道の源としても利用できるよね」と語ってくれた事
がありました。

又、昭和39年頃の事でした。

東京からいらした表千家のお茶の先生が、帰省されるホームの上で
一升瓶を2本風呂敷に包んで下げているので、「その水は、何ですか」

とお尋ねしましたら「お茶をたてるのに、東京の水ではとっても駄目だからこの様にして持って帰ってお稽古するのよ」とのお話でした。

何をするにも水は大切です。

やはり、昭和30年代以降に上球磨・中球磨地区かけて南部利水工事が長年に亘り完成されて後、多良木・岡原・上村・錦へと球磨川から南側はすばらしい田畑が出来、農家を潤した事でしょうか。

そして、戦後苦勞して開拓してこられた清水開拓団のお陰で、今日現在すばらしい稲が育つ“地”になったのです。

子孫に水を残さなければなりません。

水は、必要です

ダムを是非造ってください。

川辺川ダム事業の推進について

1. 県民の生命と財産を守るのは県知事であるはず。

意見・昭和38～40年の3カ年にかけて川辺川、球磨川で大規模な洪水が発生し県議会、人吉市議会は球磨川の抜本的対策を国に要望し昭和41年に川辺川ダム建設計画を発表する。当初、反対決議を表明した五木村も昭和59年に合意、調印し県民の生命、財産の保証の確約が早期にできるものと期待していたが42年経過しても避難勧告を受けるような状態では安全、安心はほど遠い。

深夜、未明に避難勧告の経験のない反対論者が流域住民の生命、財産を守ってくれますか。過去の洪水体験者にも反ダムの立場の人がいるのは、当時の水害が市房ダムの洪水調節ミスではないかの不信感があり、きちっとした説明責任をはたしてないと感じる。

ダム必要性の可否尺度のいちばんは沿岸、流域の住民の生の声であって、流域外、県外の団体等が生命の保証ができますか。

当事者不在の場で論じられるのは些か釈然としないのが本音である。

県民の生命と財産を守るのは県知事である。

2. 災害は待ってこない。

意見・急激な地球環境の変化に対応できるのか。短時間集中豪雨とかアメリカ中部、ヨーロッパの洪水など過去のデータでは予測できない環境の変化による自然災害に基本高高水のピーク流量は適切か。近年、川内川で降った雨を球磨川で仮定すると約8000m³/sとなるそうだ。

1000m³/sは調節可能か

ダムの事業推進は当然だが、並行して堤防の嵩上、堆積土砂の処理の推進。ダム計画から42年経過、地球環境は大きく変化しています

災害は待ってくれません。

昭和二十年	激に川や海	た。油、洗剤、農薬等	活が豊かに便利になるにつれ、川は汚れて来	の石に生えた薬を食べて成長する。人間の生	ている。果たしてそうであるか、鮎は川底	る面からの生態が変わってしまふと懸念され	流が無くなる、川、海、球磨川流域のあらゆる	反	ダム建設を、容認してははずである。今、	球磨川、下流の八代海、天草まで広域に渡り	県、五木村、周囲の関係市町村、農業、漁業	業が、国の一方的な考えで決まるはずもなく	いものであったと推察する。これだけの大事	し、ダム建設を決定。決定までの道程も険し	未だに結論が出ていない。当時諸条件を吟味	ム建設への「賛成、反対」への意見の交換会	まず、今まで何回も繰り返されている、ダ	川辺川ダムに関する意見
-------	-------	------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	-----------------------	---	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-------------

は	昭	易	災	な	に	ム	の	等	に	化	態	然	り	と	が
取	和	く	害	い	逆	建	便	、	よ	の	を	の	は	言	い
り	初	な	、	だ	の	設	利	清	る	一	変	流	は	わ	っ
戻	期	り	あ	ら	ぼ	反	さ	流	家	番	え	れ	か	れ	ば
せ	の	そ	ら	う	り	対	に	を	庭	の	る	は	に	る	い
る	生	の	ゆ	か	、	の	あ	維	排	原	も	失	澄	。球	生
と	活	思	る	。ダ	本	前	る	持	水	因	の	わ	ん	磨	え
思	に	恵	面	ム	当	に	こ	出	、農	は	で	れ	で	川	て
う	戻	を	よ	建	の	、	と	来	作	、人	は	る	いた	自	、
	た	忘	り	設	原	川	を	ない	物	間	な	が	。ダ	体	鮎
	な	れ	、生	に	因	が	気	の	に	生	い	、決	ム	の	も
	ら	が	活	よ	を	汚	づ	は	対	活	と	して	建	水	た
	、	ち	が	り	追	れ	く	、自	す	の	思	汚	設	の	く
	球	で	あ	、利	求	始	べ	分	る	豊	う	し	に	色	さ
	磨	あ	る	水	す	め	き	違	あ	か	。川	たり	よ	も	ん
	川	。我	。我	、發	る	た	で	の	る	さ	の	り	り	、	獲
	の	々	々	電	べき	頃	あ	生	。ダ	便	生	、	、	現	れ
	清	が	し		で	の	る	活		利	変	自	自	在	て
	流				は	時	る			さ				よ	いた

川辺川ダムに関する意見

ダム計画が発表されて、長きに渡り道路の整備や橋・トンネル・周辺公園、代替地の造成など多額の税金が利用され整備されてきた。我々一般納税者から見ると、それはダムを建設し球磨川流域の生命と財産を守るという大きな目標があったからこそ許されてきたものだと思う。今になってダムを作らないとなると今まで投入された我々の税金の本質的な目的がなくなってしまう。

ダム建設には色々な目的があったはずである。治水や発電を中心に、我々の生活や農業を行っていくうえで必要不可欠なものだと思っていた。農業用水が足りない地域にとってはその要望はもっと強いものだろう。最近特に感じるのが地球温暖化である。新しい住宅はほとんどがオール電化。マンションや公共住宅もオール電化。電気の需要は増える一方である。更に核家族化が進み老人の一人暮らしの所帯が増えるとその傾向は益々進んでいく。そんな中必要な電力を求めるのに自分たちの町に簡単に火力発電所や原子力発電所の建設を許せるだろうか。自然エネルギーを有効に利用し発電するダムは最も効果的な方法である。

治水についても山林の保水力が充分あると知っている人も多いが現況の林業の経済状況から見て非常に不安定な要因が多いと思われる。伐採された跡の植林ができない枝打ちや間伐もできない。又、植林された森での保水力には疑問があるなどである。そのような中での治水はダム以外には有効な手立ては無いのではないか。

私は川辺川ダムを造る事には反対の立場である。オーに申上げない事は自然に抗う事は決してよい事ではない。年友は覚えていないが、水工のダムが出来た後、大豪雨があり、ダムを放水した事があった。球磨川、川辺川の流域は多大な被害を被り、人災も幾人と云ふ事があった。水力発電の爲めと云う大義名分はあつても、荒瀬ダムの撤去は茶塩谷知事の決定事項の一部であり、蒲島知事着任早々のオーでダムありきの様子を発言は、余りにも地元民或は県民の声をないがしろにされた言葉としが取れないのは私だけであろうか？

過日、蒲島知事の中央都市での有識者とやらの名簿を拜見させて頂いた。驚くと同時に、如何にもダムありきダム推進者の名前がズバリ、も早、何おが言わんやの感であり、行政とは何と破廉恥な事も罷り通るのだと嫌悪感を催したのである。

県民クラブとしての良識を有して居らねるなら、策意的とも取れ、種々行政ではなく、地元民の迷惑も再考の上で、ダムの要らねい、自然の美しい球磨川を眺めつゝ、真い、よじれた荒瀬ダムの撤去は成すべきであると、過去何拾年も前から、沿道道路を走る際、ダムの容壁に山の様なゴミがたまつて居る事に幾度も抗議を成して居ない様な感も抱きついで来た。行政には、反対の裏には賛成もある、然し反対ある事には、それなりの理由がある筈であるところ、議論の上で結論が出る事が否、どうするべきである事を要望する者であり、着任早々の知事の発言は、県民の誰もお早急不ざらと思つて居るまいよう、ダムありきではない自然を生かした方法で県民を見つめて再考されることを強く希みます。

過日、お見舞があつたら、どうかご容謝願います。

川辺川ダムに関する県民の意見

私は、錦町在住の59才男性です。

川辺川ダムについては大変関心がありますし、1日も早い完成を望んでおります。と申しますのも私が大変ひたしくしている知人が人吉市に住んでいまして、毎年梅雨時期には、洪水警報を聞きながらびくびくして生活して居ます。又、病氣持ちの年寄りも一緒に生活しておりますので避難命令が出るたびに大変な思いをしています。この話を聞くたびに他人事には思えず河川地域外ではありますが、1日も早いダムの完成を望んでいます。

私は、昭和20年10月生まれの63才になります。

昭和39年に高校卒業後他県で生活し、昭和60年に帰郷しました。そして現在に至っております。

帰郷してから、ダム問題で揺れている五木村が気になり「今はどんなになっているだろう」との思いから、家族と行楽を兼ね、訪ねる事にしました。

当時は、付替え国道の工事もされておらず、五木といえは遠く感じ、身構えてから行くという感じでした。

頭地地区を見て回った時、ダム反対の看板とプレハブ小屋が目にとまりました。看板は薄汚くなって、プレハブ小屋も少し傾いて、周りには雑草が生い茂っております。

その状況を目にしたとき、物悲しい五木の子守唄が思い出され、同情と同時に「下流域の住民の事も考え、いかげんに諦めたらどうなんだろう」との思いでした。

それから、余りダムのことも気にせず生活している内に、平成8年だっと思いますが、国と五木村がダム計画の協定書に調印のニュースが伝わりました。

その直後、人吉市からダム反対ののろしが上がりました。「いまさらなんだ」と言うのが率直な感想でした。数年前のプレハブ小屋を思い出すと共に、「五木の人達はどんな思いだろう。なんでもう少し早く五木村の人々の気持ちを解ってやれなかったのか」と憤りさえ感じました。従っていまだもって、ダム反対者の意見を受入れる気持ちにはなれません。

さらに迫り討ちを掛けるように、今年の5月、ダム反対の市民団体6団体が蒲島知事に対し、要望書を提出した旨の人吉新聞の記事で、ある反対者の代表の意見として「ダムに賛成している地元住民はほとんどいない。15年間人吉市に住んで反対活動をしていたが、川に近い方ほどダム反対の傾向にある。…」人吉市に移り住む以前の大水害を体験せざるして、この意見は如何なものか。また、五木で人生の半分をダム反対運動に費やされた方々も高齢化や亡くなられたりして当時の状況が見えにくい面もあるかと考えられる。

未曾有の大水害が発生したとき誰が責任を取ってくれるのでしょうか。

昭和38・39年と連続の水害を目の当たりにしています。その翌年はまだひどかったようです。(40年は他県に在住)

ダムの替わりに堤防の嵩上げ、河床掘削が言われていますが、その事により逆に親しみにくい川になるのではないのでしょうか。ダム以外の洪水調整は川幅を広げない限り、解決できないと考えます。

熊本県知事 蒲島 郁夫様

「川辺川ダム事業に関する意見について」

川辺川ダム建設の賛成意見について、私が川辺川ダムについて関心を持ちましたのか就職先から球磨郡に帰化してからの事で、それまでは、五木村とは、どこにあるのかさえ知りませんでした。

賛成というのには、一番に、昭和、平成の球磨川、川辺川の大洪水による、免田人吉、その下流域の水害災害の悲惨な後景。

この災害を防ぐためにも、水の調正ができる、ダムが絶対に必要だと思えます。

第二に、平成の紀におきた、大干ばつ、水上から人吉まで連なる、球磨盆地の水の利用について、市房ダムが果たした事は、それこそ、治水用のダムがあったからこそだと私は考えます。

最後に、五木村の住民様についても、どれだけの決心をして、この問題に苦悩し施設移転に同意された事を考えると、胸がいたいほどです。

この様な事を考えますと、これに伴う、莫大な事業資金がかかっており、それを帳消しにしろとは、とてもじゃありませんが、一住民として、考えられません。

人吉、球磨の住民として、川辺川ダムの早期着工を、念願に思います。



受信メール:「観光立県」から川辺川ダム問題を考える

川辺川ダム建設に反対です。「観光立県」のもと、3年後開通する九州新幹線を縦軸とし、横軸としての観光をいかにふやすかが論じられています。阿蘇や熊本城とともに、球磨川流域を第1級の観光資源と位置づけて呼び込むことを図っていただきたい。そのためには、現況以上の流域の清流を獲得・維持することが求められるからです。

全国各地を観光その他で訪れた私の見聞では、球磨川流域独自のさまざまな観光資源が豊かであることが認められます。

敷設100周年を迎えた肥薩線は、景観、駅舎とも、鉄道マニアならずとも列車の旅を楽しめます。球磨川の舟下りは、京都の保津川下りとは比較にならない豪快さです。また、カヌーや九州で唯一楽しめるといわれるラフティングは、近年はやりの参加型観光としてもっと脚光を浴びる可能性を秘めています。球泉洞は、秋吉台鍾乳洞より、洞の高さ奥行き深さにかけて遙かに大規模です。相良藩600年の歴史史跡に加えて、熊本県全体が西南戦争の戦場になっており、球磨川流域にも多くその史跡を残し、近代史への興味関心をそそります。さらに、服装、道具といった装備に約30万円かけて週末に航空機でもかけつけるといわれる鮎釣りの客は、滞在型の客であり、地域経済にもたらす波及効果は大なるものがあります。

各地のテーマパークは、料金の高さの割には満足度がいまひとつです。箱庭の名所旧跡も飽きられています。

球磨川流域を訪れた観光客に、再訪したい、人にもすすめたいと思わせるには、鮎の生息環境を保全のためだけでなく、各地で失われつつある大規模な清流、球磨川・川辺川が清流であることが不可欠です。球磨川流域の清流は、県南の地域再生の鍵と考えます。

あと、流域に絞った宣伝戦略が課題でしょう。行政や各界とともに、県民としても考えていきたいです。

====以上、おおむね20字×40行
oooooooooooooooooooooooooooo

川辺川ダム事業に関する県民の意見

ダム建設の話が持ちあがってから40年あまり五木村、相良村住民の引き越、兩岸の道路もほぼ完成かな、もう残すところダム本体だけかなと思う矢先さまざまな問題でダムの完成が遅れている、塩谷知事になつてから一歩も前進していない。

ダムの水を利用する計画にもとずいて工事がされているはずの配水管ほとんど完成の様子、もしダムが出来ないならこの工事はなんだつたのでしょうか。

農家の人々は自分たちが元気で仕事が出来るうちに水が来ることを望んでいると話された。

昭和40年から2、3年つずいて大災害があり川べりの住宅はほとんど水につかり私たちは汚水と増水したどろどろの水を泳ぎながら水に浸かった家々に手伝いに行きました。それから大雨が降るたび水が出なければ良いが思うのです。

水の怖さは経験したものでなければわかりません。

ダム反対の方たちは、旅行者気分で自然とか景観とかを声高々に唱えられすがそこに住む人たちの恐怖と不安を考慮して下さい。地元の住民が一番自然と景観は大事にしていると思います。その上で一日も早いダムの完成を望みます。

かばしま 矢の事 様

先日の「吉かばしま」での川辺川ダムの問題を傍聴しての感想です。

賛成、反対のそれぞれを聞いて聞くとなるほどと思う事もあるが、そんな~~簡単~~で「反対ですか?」と思いませんか?
私はダム賛成の者としての意見を言きたりと思えます。

私は相良村川辺で生まれ育ち、現在は、水上村のダム^{まぐ}の近くで働いています。

昔からダムで沈んで栄えた村は無いと言われてはしましたが、水上村はダムで水没しても、水上村にそびえ立ち、市房山や湯山温泉、ダム周辺の「万石砦」と村あげ2の桜祭りイベントがたくさんあり、~~栄えが~~近隣の町、村より栄え^る村だと思えます。

- 川辺川ダム反対意見で「川の水が汚くなり人畜の観光もダメになる意見には、川辺川の上流より水の流束が止まる事なく川辺川に流れる清水ハイパスリニアが計画されており人畜まで川の水の汚れの心配は無いと思ひ、五木で降った雨はダムに預水貯蓄でハイパスの水が流れるなら、現状、川辺川と同じくは、清水ハイパスの水が早くきれになるので、早く汚濁がなくなり元の川辺川になると思ひます。自然のカモコーンロー化できる川の「上流」の豪雨、台風での汚濁は、ダムがあっても、無くても下流域にはどうなる事もない事を付加しておきます。
- 川辺川ダム反対意見で「流域に生息する貴重なクワタカを守る意見には、クワタカは川辺川の低川階層は生息地が少いと思ひます。水面が数十m上がった5リでは生息に大きな変化はないと思ひます。相良村で暮らしていた時はクワタカを飼っていたのは見た事はありませんが、水上村の上で飼っていたクワタカは、生息地は広範囲に亘るのよ」と思ひます。クワタカのためダム中止はバカげています。
- ダムができれば利水と発電所計画です。
ダム賛成の方から言われた様に、自給率30%程度の日本において、農業にかき入れ輸入にたよる農業国に! 無農薬、野菜などをブランド化して、新しい農業になるほしい。
CO₂削減に向けても水力発電を併せて地球にやさしい発電を行って下さい。



受信メール: ダム建設反対に関する意見書

樺島県知事様

先日は私たち市民の声をお聞き下さってありがとうございました。
鋭い反対側の意見追及もございました。日本大ダム会議なるダム建設推進の大物達がついに業を煮やして潮谷知事が下りたこの際に総力を挙げて、何とか自分たちの役に立つ県知事を創り上げようとしたことは、大いにあり得ることと思います。すごい権力の集団ですから、私たち弱い庶民などにはとても太刀打ちできないことです。

でも、知事自体も東大教授というすごい地位におられたとはいえ、私たちと同じ庶民のはずです。そして民主主義を標榜されて来られた以上、何とか私たちの思いを公約通り(例え中立の公約は当選手段だったとしても)最終的には、はじめから結論ありきの立場でなく、しっかり両方の意見を公平に判断して頂きたいくれぐれもよろしく願い申し上げます。

時間ぎりぎりになってきましたが、先日クマタカの件で訴えた私ですが、12名の推進派の方々が発言された内容の中で、特に私は「避難勧告」に関して発言したかったのに何せ5分と時間が足りず割愛しておりましたので、その件を少し意見述べさせていただきたくてメールを発信することにしたのです。よろしく願いします。

と言いますのは、私は川辺川縁から、歩いて5分程の所に40年近く在住しているのですが、推進側の方々が「避難勧告がこのところ毎年でているような水害常習地帯の人命と財産を守るにはダムが必要」と言った発言があったのですが、そこがおかしいと言うことなんです。

確かにこのところ数年毎年避難勧告が出されています。しかし、それがそもそもおかしいというか不思議なのです。

私はいつも勧告が出されるとすぐ、球磨川縁へ様子を見に行くことにしているのです。すると近所のみなさんが大体ぞろぞろ見えて、議論しています。私も加わるのですが私よりずっと長くこの地帯に住んでいるみなさん程、「なーん、心配なか(ない)もう減りよっばい(水位は下がりつつある)」とか「大丈夫。まだかなり余裕がある。川の中央があがったらん、(膨らんでいない)からやがて下がり始める」と言った会話を交わしながら、誰も避難する人はいないのです。もちろん、様子の分からないお年寄りの方など、初めのうちは非難されていたようですが、今年など、私は6時に避難勧告がでて、川縁に観に行く気にもならず寝ていました。近くの方に何人か尋ねてみましたが、「よそから内には避難してきたばい。」「〇〇さんは、避難したそうだけど、誰もおらんだっけん、帰ってきたそうですよ」と言った具合なのです。すみません、まだいろいろ様子を語りたいのですが、(一晩監視にあっていた消防団員の方の重要な話など)ちよつと5時をすぎてしまいましたね。残念です。

すみませんが、お役所処理になされないよう、ぜひ受け付けて頂きたくお願い申し上げます、終わりたいと思います。

川辺川ダム建設に賛成します。

- ・生命財産を守るためには大きなダムを作り余裕を持った保水を行なう。
- ・緑のダム、護岸の嵩上げ、河川の掘削による方法には限界あると思う。
- ・山林での保水がどれだけ出来るか、人吉市内での護岸嵩上げで景観が変化する。
- ・河川掘削で魚介類の生態系の変化も出てくる。
- ・市房ダムは規模が小さく大量の雨水に対応が出来ない、しかし農業用水としての、重要な働きをしている。
- ・川辺川ダムは大雨に対し十分な溜める力を持ち、濁水期の水対応にも十分に発揮すると考えます。
- ・近年、大雨、地震が頻発に起こるが異状気象も見過ごしが出来ない。
- ・一旦考えられない洪水に合い多くの人命に危害を与えた場合どうなるかと考えると恐ろしくなります。
- ・今回のダムは可動式の排水門できれいな水を下流へ流し、平均した流量をと聞かれています、最高の考えによりダムを建設しクレームの出ない、また十分な管理を行い水害防止、発電、農業用水、観光、レクリエーション施設他、多くの多目的ダムとして是非、早期建設をお願いします。
- ・五木の村民の耐え難い離村他今までの行為が無駄にならないようにお願いします。

川辺川ダム事業の推進について

*昭和41年に川辺川ダム建設計画を発表した。当時反対をしていた五木村も昭和59年に合意をした。五木村の住民も財産(家・田・山)を捨て相良村や人吉市などに移住し20年近くになり相良村・人吉市の住民になりガンバッテおられます。今相良村に住んでいる人が良く口癖にしていることが、五木村の住民は財産を捨てて移住したんだから早いダム着工を望んでいる。

相良村に住む我々にとってダム・嵩上げ・等を計画してもらったら生命と財産を守ることが出来るであろうと思う。

私の親戚で良く言われていたことが、上(現在あさぎり町)は市房ダムが出来、幸野溝、百太郎溝のおかげで生活が出来るようになったのは、やはり水である。

また、相良村の住民も災害が少なくなるのを望んでいる

川辺川ダムについて意見を述べさせていただきます。ダムは必要だと思います。

理由といたしましては、地球温暖化による現代の防災技術では予測不可能な異常気象によりまたいつ大雨、台風がかさなって川が氾濫し災害がおこり人々の大切な命及び財産を奪う危険があるのでダムを作り水量の調整をする必要があると思うからです。いまの樹木では山からのてっぽう水を抑えることはできないと思います。下流に住んでいる私たちはとても不安があります。

又、日本の国土を生かした自然エネルギーを見直す時期にきてると思います。ダムの落差を利用した水力発電が自然の摂理かなっていると思います。原子力発電も度重なる大きな地震で安全性が確保できるのかと、とても不安があります。化石エネルギーの少ない日本で国土を生かしたエネルギー確保が見直される時期にきてると思います。



受信メール:「川辺川ダム事業に関する県民の意見の募集」

私は現在、宇城市にすむ男性です。
元々は八代に住んでいました。本籍も八代です。

川辺川ダム建設には反対です。
ダムでは洪水の被害は防げません。
水害体験者の方の話だと「ダムの放流が被害を拡大している」と言っておられます。
机上の計算(国土交通省)も重要でしょうが、実際そこに住んでおられる住民の
話に耳を傾けて頂きたい。

巨額な税金を投入して、そのつゆを未来に残し
先祖から頂いた清流川辺川を未来の子供たちに残すどころか
球磨川本流みたいな死んだ川を未来に残すことはやめて頂たい。

球磨川流域の最大都市である八代市(136,159人)を守るにはダムが必要と言わ
れてますが
堤防の強化(少ない費用)で十分対応できるはずです。

ダムを検討するようになった水害時の球磨地方の山は木が伐採されていて禿山が
多かったと言われています。
今は森林が戻り保水力も大幅に増えています。
総合的な治水を考えるべきです。

あの美しい環境は熊本の財産であり、それ以上に未来に残すべき宝だと思います。
私たちには未来に残す義務があると思います。

どうかダムに依らない方法をお願いします。

川辺川ダム計画は何年たつたのだらう〜
「反対、反対」の意見もあると思うが
水没地域から家屋移転した人達の気持ちは
今さらダム計画を中止させても困る。

7月に入り毎日暑い日が続きます、
雨も数滴の程しか降ってあらず、夏野菜も悲鳴を
あてていると思ひます。

此、水があれば、本当に助かる人もたくさんいる
のであ。水がなければ、田んぼが、田んぼが、あつても
米は作れない人もいます。農家に土地があるのに
作物が作れないというのは、悲しいことだと思ひ
ます。

30年程前から家百移転して来たや
国道の道路改良工事など、多額の資金
で家の建設の準備をして来た。今更ら
ずとも作り直しと言ふのは、変な話だ
と思う。

ここ近年の気象状況は、異常とも思えるほど激しいものが多く、自然災害が頻発しています。

今年も、五打築切地区でも増水により河川工事をしていた所が流されてしまい、やり直しを余儀なくされています。

こんな事を繰り返すより、もっと根本的な対策が必要なのでは、ないでしょうか？